



沿岸で相撲の選手育てたい

国体で岩手県選手団旗手を務めた
小田島哲男^{つお}さん（船越・42歳）

「県体育協会から話があったときには、とても驚きました」と話す小田島哲男さん。9月29日から行われた秋田わか杉国体の開会式で、相撲競技に出場する小田島さんが、県選手団旗手を務めました。

「旗手は天皇・皇后両陛下の前を通るときに旗を前方に出しますが、出し方を間違えないようにすることです。頭がいつぱいでした」と開会式の様子を語ります。旧浄法寺町出身の小田島さんは、周囲の環境や父親の影響もあって、子供のころから相撲一筋。高校生のころから国体に出場し、出場回数はこれまで19年連続、21回を数えました。しかし、小田島さんが出場した成年チームB（教員2人、25歳以下青年1人）は今回を最後に廃止され、最強チームのみの出場となること。「若い人たちにかなわないから、選手としての出場は今回が最後かな」と話しています。

「山田だけでなく、沿岸地区全体で相撲をもっと盛んにし、大きい大会で入賞できる力をつけた子供たちを育てていきたいですね」と相撲の普及振興に情熱を燃やしていました。



全国大会への出場を決めた山田中男子の皆さん



東北大会初出場の山田中女子の皆さん

県中学校駅伝大会で山田中が活躍 男子優勝、女子も準Vに

10月12日に行われた県中学校駅伝大会で、山田中男子が優勝、女子が2位に入賞する活躍を見せました。

大会は花巻市で行われ、男子の部には40チームが出場しました。山田中は2区でトップに立つと、首位をキープしたままアンカーの斉藤翔太君（3年）へ。斉藤君は区間賞の走りでも2位以下を大きく引き離してゴールテープを切り、9年ぶり2度目の優勝を飾りました。また、女子の部には41チームが出場。山田中は4区佐々木麗華さん（2年）の区間賞をはじめとした好走が光り、見事2位でゴールしました。結果、男子は全国大会と東北大会、女子は初出場となる東北大会への切符を手に入れました。

男子キャプテンの沼崎瑞希君（3年）は「優勝を目指して参加しましたが、勝つことができうれしいです。全国大会では、順位を気にせずいい走りをするに集中したい」、女子キャプテンの川村絵理さん（2年）は「2位に入賞できてすごくうれしかったです。1・2年生のチームなので、来年は優勝を目指します。東北大会では、入賞を目指してベストの走りをしたい」と抱負を述べていました。

東北大会は11月3日に秋田県秋田市で、全国大会は12月15日に山口県山口市で開催される予定となっており、生徒たちの活躍に大きな期待が寄せられています。